

NEWS News News

◇大森文庫展示会を開催しました

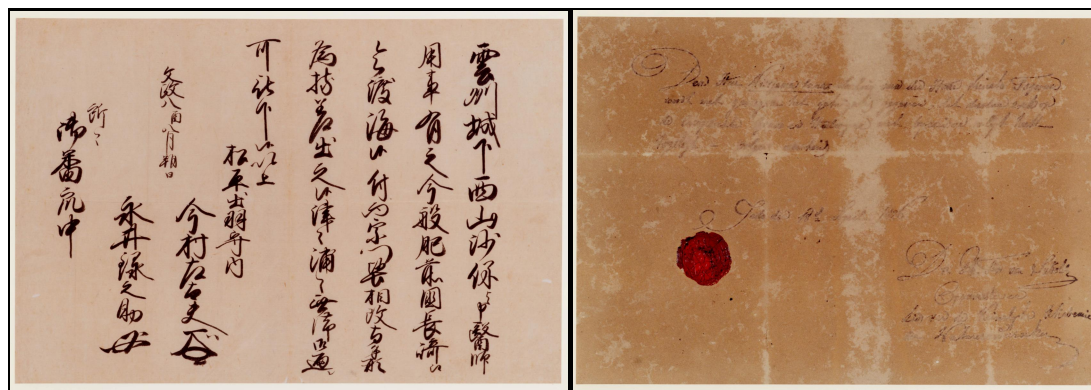
10月12日から14日まで看護学科棟N101演習室において、2007年大森文庫展示会を開催しました。

平成17年から始めた分館貴重資料「大森文庫」の展示会は、今年で3回目となりました。過去2回は、大森文庫の著者である、母里（現在の安来市大塚）の医師大森不明堂三楽と、三楽が生涯二度にわたり修業した医聖華岡青洲に関するものを主に展示してきました。今年は、“郷土”をキーワードにして、萩原村（現在の出雲市萩原町）の医師西山砂保を同時に取り上げました。砂保は三楽同様、華岡青洲の下で修業し、その後、長崎鳴滝塾にも赴き、シーボルトから修業証書を授かった人で、三楽の師に当たる人です。

主な展示品は、三楽筆の「瘍科瑣言」や、「南遊雑記」などの古文書、三楽自画像・砂保肖像画・青洲筆の掛軸、砂保の修業証書・宗門証状・他藩通鑑状、シーボルト著 Nippon の復刻版など約20点です。

3日間で、163名の入場者があり、「貴重な資料を広く公開することは重要」、「積極的に行なってほしい」、「実物を目の前で見られるとは思っていなかったもので、感動した」など多くのご意見をいただきました。

分館では、今後もこれら貴重書の適切な保存に努め、広く一般の方に見ていただけるような機会を作っていきたいと思います。



他藩通鑑状

修業証書

◇酒井シヅ先生による講演会

分館では医学部との共催で、日本の医史学研究の第一人者で、順天堂大学医学部医史学講座客員教授の酒井シヅ先生をお招きし、くえびこ祭医学関連企画として、下記講演会を開催しました。

入場者は66名でした。

演題：「江戸時代の医師、と患者-現代の目で」

日時：10月13日（土）午後4時15分～5時30分

場所：看護学科棟 N11 番講義室

日本の医学の歴史、江戸時代の医師の位置づけ、江戸庶民の医師を見る目の鋭さから、現代医学のあり方にも言及。また、健康に生活するための心構えを説いた貝原益軒の「養生訓」から見える賢い患者についての講演。

お知らせ

◇講演会のご案内

出雲中央図書館創立60周年図書館フェスタにおいて、分館と出雲市立図書館の共催で下記講演会を開催します。入場希望の方は、整理券がありますので分館カウンター（内線2004）までお問い合わせください。

講師：鳥取大学大学院医学系研究科 教授 藤井輝明先生

演題：「顔で笑って、心も元気で～あなたの心にタッチ～」

日時：11月3日（土）午後2時～3時15分

場所：出雲市立出雲中央図書館 2階多目的室

◇分館の入退館システムが生体認証に変わります

図書館耐震・改修工事のため現在閉館時特別利用を中止していますが、工事完了後の再開の折には入退館システムがこれまでのカードキー方式から、手のひらの生体認証方式に変わります。このシステムは看護学科棟の情報科学演習室と同様のものです。

このシステムを利用するためには、あらかじめ認証登録をする必要があります。なお、情報科学演習室利用のためにすでに登録をされた方は再度登録する必要はありません。

登録が可能になりましたら詳細をお知らせします。

発行日 2007（平成19）年10月20日

発行者 島根大学附属図書館医学分館

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

TEL:0853-20-2004

FAX:0853-20-2095